XEN 仮想マシンの移植

2009/04/14

既に作成済みの XEN 仮想マシンを移植する方法を説明します。

仮想マシンイメージは、通常 /var/lib/xen/image/MyVmachine に作成されていますが、このファイルを tar 圧縮してリムーバブルメディアにコピーするなり rsync で他のコンピュータにコピーしたり、あるいはバックアップされて今は使われていないイメージを戻して再利用することができます。

ここでは、基準となる一つのイメージから、別のマシンを再インストールせずに増殖させる方法を説明します。

元のイメージをコピーする

```
login as: root
Using keyboard-interactive authentication.
Password:
Last login: Mon Apr 6 16:48:45 2009
bandit:~ #
bandit:~ # cd /var/lib/xen/images/ <-イメージ内容を確認
bandit:/var/lib/xen/images # ls
.disk-list W7-32-7000 W7-32manage newsrv sles116gx1
bandit:/var/lib/xen/images # mkdir newsrv <- newsrv 用ディレクトリを作成しコピー
bandit:/var/lib/xen/images # cp sles116gx1/dsles116gx1.disk0 newsrv
bandit:/var/lib/xen/images # cd newsrv/
bandit:/var/lib/xen/images/newsrv # ls
dsles116gx1.disk0 <-元のイメージ名なので mv コマンドで名前を代える
bandit:/var/lib/xen/images/newsrv # mv dsles116gx1.disk0 newserv.disk0
```

旧イメージの MAC アドレスを確認

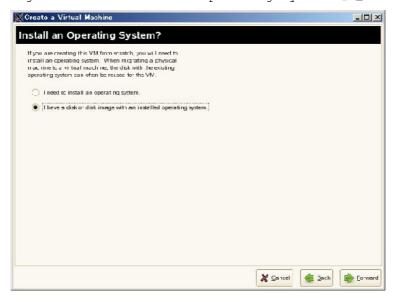
```
bandit:/var/lib/xen/images/newsrv # cat /etc/xen/vm/sles116gx1
name="sles116qx1"
uuid="b0b11c47-6295-1b66-dce7-c7b6d38224db"
memory=512
vcpus=4
on poweroff="destroy"
on reboot="restart"
on crash="destroy"
localtime=0
builder="linux"
bootloader="/usr/lib/xen/boot/domUloader.py"
bootargs="--entry=xvda2:/boot/vmlinuz-xen,/boot/initrd-xen"
disk=[ 'file:/var/lib/xen/images/sles116qx1/dsles116qx1.disk0,xvda,w',
'file:/home/maji/ISO/SLES-11-DVD-x86 64-GM-DVD1.iso,xvdb:cdrom,r', ]
vif=[ 'mac=00:16:3e:1b:56:1f', ] <-元のイメージが持っていた MAC アドレス
vfb=['type=vnc, vncunused=1']
bandit:/var/lib/xen/images/newsrv #
```

新仮想マシンの立ち上げ

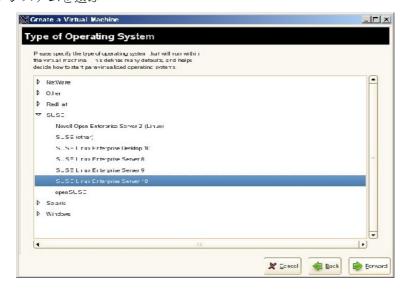
YaST > Virtual Machine > Create New Machine



I have a disk or image with an installed operating system を選ぶ



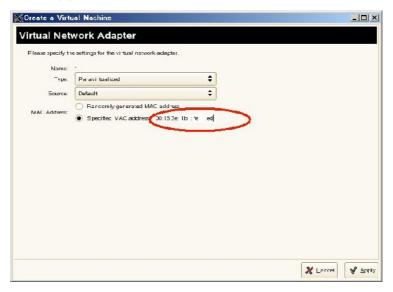
必要なオペレーティングシステムを選ぶ



ディスクイメージに先ほどコピーしたイメージをセット



MAC アドレスに、オリジナルと異なる MAC アドレスをセット

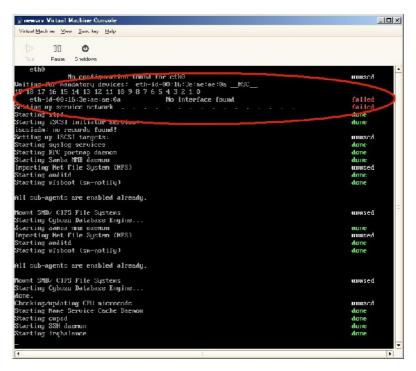


新しい仮想マシン名、仮想ディスク、仮想ネットワークカードを設定したら OK で起動を開始します。



SLES 10 でネットワークが認識できない問題

この問題は Windows および SLES11 では発生しません。SLES10.x 固有の問題のようです。起動時に新しいMACアドレスが認識できず、元のイメージの MAC アドレスで起動しようとします。そのため正しく通信を行うことができません。



SLES 10 の場合、元のイメージに作成されたネットワーク設定を削除し、作り直す必要があります。Domain-0 (親サーバ) から xm console コマンドで Domain-U(仮想マシン)に切り替えます。

bandit:~ # xm list					
Name	ID	Mem '	VCPUs	State	Time(s)
Domain-0	0	5198	4	r	251.2
W7-32-7000	1	1024	2	-b	68.3
W7-32manage	2	1024	2	-b	838.9
grn		1024	4		0.0
newsrv	7	512	4	-b	10.1
sles116gx1		512	4		0.0
handit: a # wm consolo nowers					

bandit:~ # xm console newsrv

: 略

newsrv login:

Welcome to SUSE Linux Enterprise Server 10 SP2 $(x86_64)$ - Kernel 2.6.16.60-0.21-xen (xvc0).

newsrv login: root
Password:*******

Last login: Wed Apr 15 16:13:39 JST 2009 on tty1

newsrv:~ # rm /etc/udev/rules.d/30-net_persistent_names.rules
newsrv:~ # rm /etc/sysconfig/network/ifcfg-eth-id-00\:16\:3e\:1b\:56\:1f

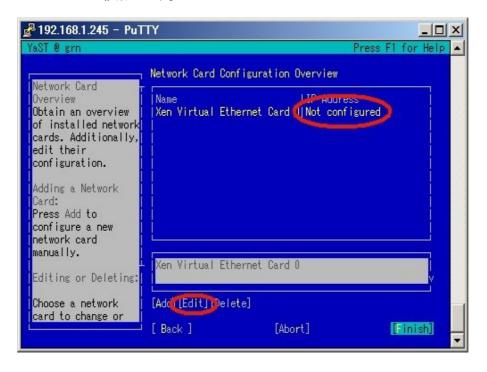
上の2ファイルを削除し、古い設定を削除してしまいます。

次に yast (CUI版) を起動します。

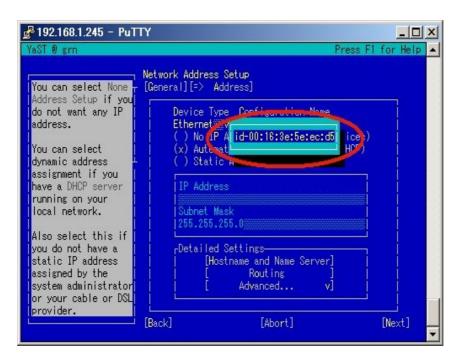
TAB キーで Network Devices > Network Card[Enter]



Traditional Setup > XEN 用 VM 仮想カードが Not Configured であることを確認して TAB キーで Edit へ移動します。



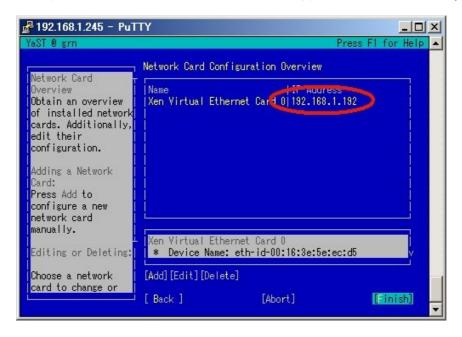
移植したMACアドレスで認識されていることを確認できます。



Static Address にtab キーをあわせて IP Address にスタティックアドレスを設定します。 Hostname and Name Server にtab キーをあわせて HOSTNAME を修正します。



新しい IP が新しい MAC アドレスに設定されたことを確認して Finish します。

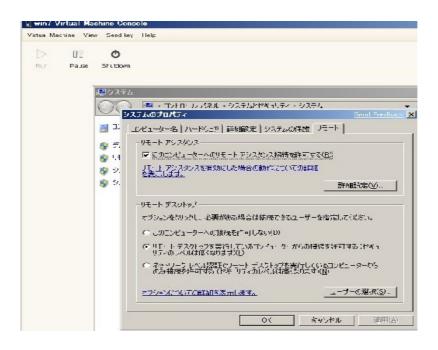


Xm console を終了するには CTRL+] を押します。

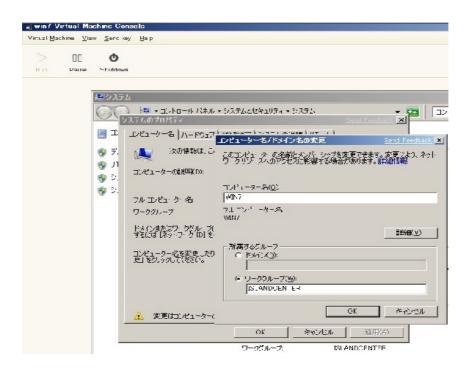
Windows の場合

Windows では xm console コマンドが使えないため xming などの x 端末ソフトウェアから YaST2 > Vitalization > Vitalization Manager から GUI コンソールを使います。

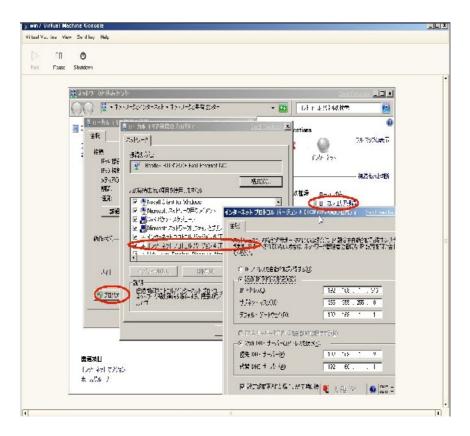
まず、マイコンピューターのプロパティから「リモートアクセス」を許可します。



コンピューター名、ドメインまたはワークグループ名を変更します。



IPアドレスを設定しなおします。



全ての設定が変更できたら、Windows を再起動します。リモートデスクトップ接続が行えることを確認します。